

主催：酪農学園大学・学内共同研究プロジェクト  
総合地球環境学研究所『砂漠化をめぐる風と人と土』プロジェクト  
共催：日本沙漠学会沙漠誌分科会

日時：2016年1月15日（金）  
9時20分～17時35分  
場所：酪農学園大学 研修館

(<http://www.rakuno.ac.jp/outline/guide/access.html>)

J R 函館本線大森駅南口下車、徒歩約10分

J R 千歳線新札幌駅から、野幌・江別・南幌・あけぼの団地方面行きバスでとわの森三愛高校前または酪農学園前下車すぐ



## アジア・アフリカ乾燥地の社会・生態変化への適応

内モンゴル定住型放牧地域における家畜の追跡に関する研究

-アバガ旗を事例に-

ソリガ（酪農学園大学・大学院酪農学研究科）

Effects of environmental variables on movement pattern of Mongolian horse - A case study using maximum entropy modeling (Maxent)

ヤダムジャブ・プレブドルジ（酪農学園大学・大学院酪農学研究科）

内モンゴル半農半牧地域における「新たな農地開発」の実態と課題

-赤峰市のA村を事例として-

永 海（酪農学園大学・大学院酪農学研究科）

内モンゴルホルチン地区における退耕還林後の環境の変化と生業について

小田 玲実（酪農学園大学・大学院酪農学研究科）

インド北西部における生業への畜力利用

遠藤 仁（総合地球環境学研究所）

インド北西部乾燥地における牧畜：定住牧畜民の事例から

宮寄 英寿（総合地球環境学研究所）

「ローカル・ナレッジ」と「適正技術」に関する一考察：

西アフリカの半乾燥地の水食対策の事例から

清水 貴夫（総合地球環境学研究所）

アフリカ乾燥地の農耕民－移動と生業多様化

石山 俊（総合地球環境学研究所）

総合討論

問い合わせ先：酪農学園大学 星野仏方 011-388-4913 ([aosier@rakuno.ac.jp](mailto:aosier@rakuno.ac.jp))

総合地球環境学研究所 宮寄英寿 ([miyahide@chikyu.ac.jp](mailto:miyahide@chikyu.ac.jp))